

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、
不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● ドローンによる造林資材運搬実験を行いました

林業作業における作業の効率化、労働災害の防止を目的に、ドローンの可能性を検討するため、郡上市森林組合の協力のもと5月11日～15日、森林技術開発・普及コンソーシアム主催でドローンによる造林資材の運搬実験を郡上市明宝小川の浅谷県有林で実施しました。

使用した機械は、30kgまで吊り運搬できるドローン「KATANA」※、20kgまで吊り運搬のできるドローン「YOROI」※の2種類です。今回は安全を考えてそれぞれの許容運搬重量以下の資材運搬とし、植栽する苗木（裸苗）、ツリーシェルター、支柱を作業道から再造林現場へ空輸しました。GPSにより飛行ルートを設定して運搬した「KATANA」、再造林現場の下からパイロットの直接操縦により運搬した「YOROI」のどちらにも資材運搬は条件を整えば造林作業の労働力の軽減、効率化を実現できると感じました。

ただ、「事前の準備やバッテリーの交換に手間がかかる」「造林資材の梱包の主流が20kg前後のため最低でも20kgの運搬能力が欲しい」「ドローンの操作や設定に高度な技術が要求されるので専門のオペレーターがいなければ対応できない」「林業事業者が購入するには製品としてもっと簡単に扱える必要がある」といった課題もでてきました。

現在コンソーシアムでは課題にも出てきたドローンのオペレーター育成等について、森林文化アカデミーのスマート林業推進係と連携しながらオペレーター研修会の開催についての検討を進めており、将来的にドローンを活用して効率的な作業ができるような土台づくりをしています。

※…サイトテック(株)社製大型ドローン

「YOROI」による運搬状況(支柱)



「YOROI」による運搬状況(苗木)



「KATANA」による運搬状況(支柱)



● 木育遊具の試作品が完成しました

高付加価値木材製品開発ワーキンググループ（リーダー：ナイス（株））では、昨年度、表層圧密技術を利用した県産材製品開発の一環として木製遊具の試作品作製に取り組んできました。

去る3月23日、多治見市の「セラミックパークMINO」において木育スペースとして遊具などの試作品を設置し、展示およびモニター調査を開始しました。モニター調査は約1年かけて実施し、調査内容を踏まえて完成に向けた改良を施す予定としています。

遊具は森林文化アカデミー教員の前野講師との連携により製作され、表層圧密材を使用したすべり台や棚状のトンネル、ちゃぶ台などがあります。床材には一部に非圧縮の無垢材が使用され、圧縮の有無による質感の違いを感じることができるようになっています。

残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大の影響により展示開始直後の4月上旬から自由にご覧いただくことが困難な状況となっておりますが、制限が緩和されたことにより会員の皆様にもご覧いただくことが可能となりました。多治見市のセラミックパークMINOの2階、岐阜県現代陶芸美術館の入口横に木育スペースがありますので、お近くへお越しの際はぜひお立ち寄りいただき、改良に向けた意見をお寄せいただくと幸いです。（現時点では施設の感染症対策の都合上、触れて使用していただくことができなくなっておりますのでご了承ください。）

高付加価値木材製品の開発の取り組みについては、今年度も「木材利用拡大委員会」内の「表層圧密木材用途開発プロジェクト」として、今年度での製品化を目指し活動する予定としております。



組み立てワークショップの状況



木育スペースの完成状況



すべり台やトンネルになっている

● 試験機器等の利用料を助成しています

コンソーシアムでは、特別会員および一般会員の皆様へ、岐阜県立森林文化アカデミー及び岐阜県森林研究所の開放試験機器等の利用に対する助成金を交付しております。助成額は利用料の半分、上限10万円／年で、使用できる機器は木材乾燥機、実大強度試験機、タワーヤダなどがあります。（使用可能な機器はホームページをご確認ください。）

助成を受けたい場合、まずは事務局までご連絡ください。

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88
TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com
HP: <https://www.forest.ac.jp/company/consortium/>

ホームページ
はこちら

